

# エコアクション21 環境経営レポート

2023年度  
運用期間  
(2023年4月～2024年3月)



2024年7月1日

第15版

**中央冷熱株式会社**

# 目 次

1. 組織の概要	3
2. 組織図及び実施体制	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営目標の実績	8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9
8. 環境関連法規等の取りまとめ表	13
9. 代表者による評価と見直し	14

## 《 1. 組織の概要》

### 【事業所名及び代表者名】

事業所名 : 中央冷熱株式会社  
代表者名 : 代表取締役社長 橋本 義弘

### 【所在地】

〒422-8006  
本社事務所 : 静岡県静岡市駿河区曲金五丁目17-5 シズデンビル7階  
〒422-8006  
倉庫・資材置場 : 静岡県静岡市駿河区曲金五丁目7-3

### 【環境管理責任者及び連絡先】

環境管理責任者 : 常務取締役 増田 寿良  
エコアクション21推進室(事務局) : 山本 佳伸・大石 裕子・勝山 央都

TEL 054-284-7373 FAX 054-284-0070  
URL <https://chuoureinetsu.sizden.co.jp>  
E-mail [shizuoka@chuoureinetsu.co.jp](mailto:shizuoka@chuoureinetsu.co.jp)

### 【組織の沿革】

創 立 : 昭和58年 11月 1日  
資 本 金 : 20,000,000円  
エコアクション21取得日 : 平成22年 8月 24日

### 【事業内容】

建設業許可番号 : 静岡県知事許可(特-2)第20509号  
有効期間 : 令和2年10月13日 ~ 令和7年10月12日  
建設業の種類 : 管工事業・電気工事業  
第一種フロン類回収事業者登録番号 : 静岡 100091

事業の内容 : 空調設備工事  
給排水・衛生設備工事  
電気設備工事  
各設備の設計・施工  
各設備の保守管理・修理

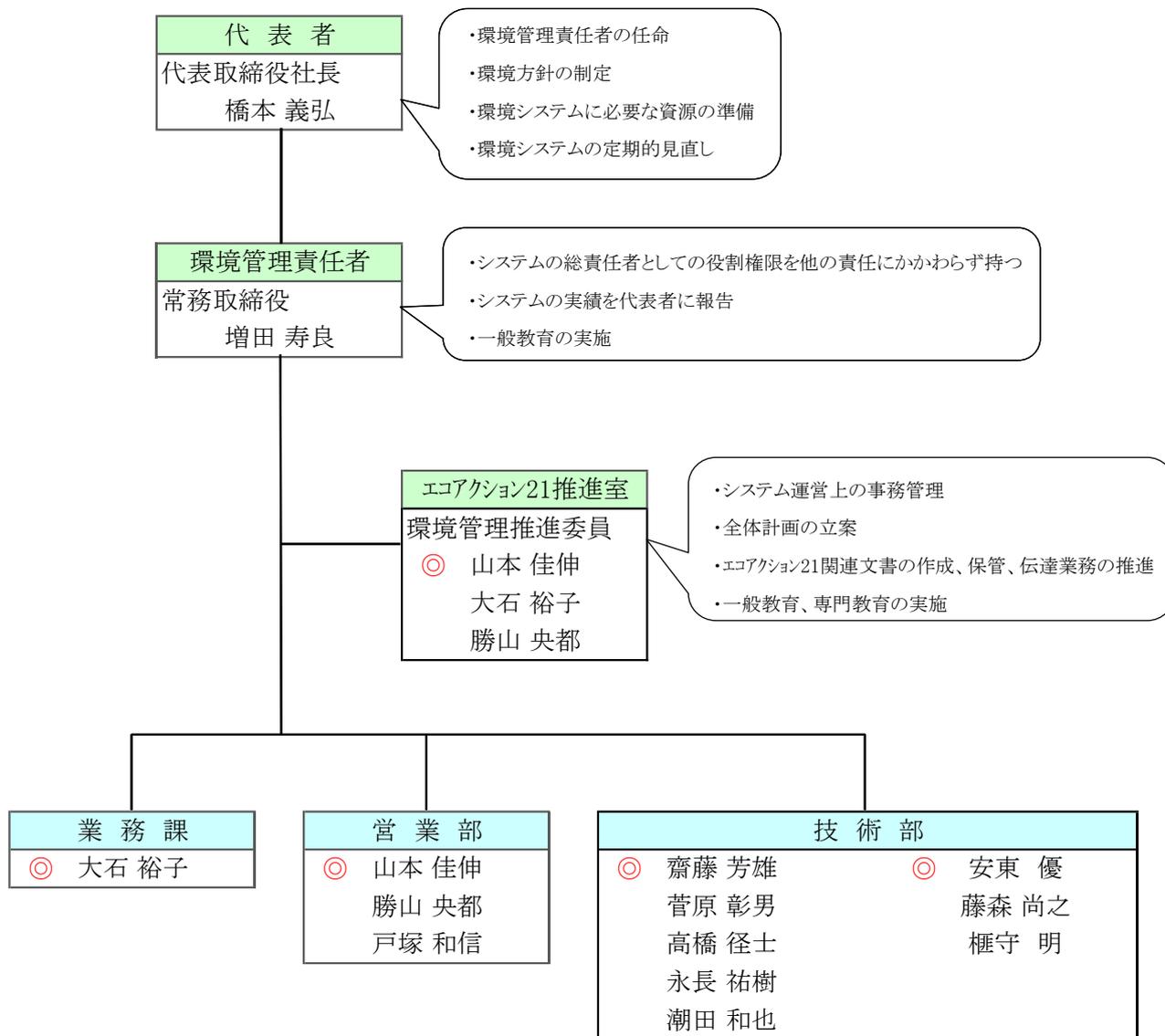
### 【事業の規模】

決算期間(期首 4月1日 ~ 期末 3月31日)

	2023年度 (R5.4~R6.3)	2022年度 (R4.4~R5.3)	2021年度 (R3.4~R4.3)
売上高(百万円)	438	394	425
従業員数	14名	14名	13名
事務所床面積	206.5 <sup>m</sup> <sup>2</sup>	206.5 <sup>m</sup> <sup>2</sup>	206.5 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
倉庫床面積	250.0 <sup>m</sup> <sup>2</sup>	250.0 <sup>m</sup> <sup>2</sup>	250.0 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
車両台数	13台	13台	13台

# 《組織図及び実施体制》

2024年3月31日 現在  
従業員数 14名



業務課	◆水使用量の削減担当 ◆エアコン設定温度管理担当 ◆電気使用量の削減担当 ◆リサイクル推進担当
営業部	◆省エネルギー機器の導入設計を推進する ◆既存設備の省エネルギー対策の助言、提案
技術部	◆再資源材料の利用、推進(グリーン購入適合品) ◆投入資材の把握、管理 ◆営業・サービス車両・工事車両のエコドライブの推進・チェック ◆フロンガス回収の徹底及び管理、関係機関の書類作成、報告 ◆廃棄資材の削減及び分別処理、管理

- ▶各部門の ◎印は責任者を示す。
- ▶各部門の担当者は、自らが組織の中でどのような役割を担っているかを確認し責任者の指示の基に行動をする。
- ▶各部において環境目標に向けた取組みを実施する。

# ◆◆ 環境経営方針 ◆◆

## 《基本理念》

中央冷熱株式会社は、空調冷凍設備工事及びメンテナンスにおいて、環境問題への取組を自覚し、社員一丸となって環境への負荷低減を考え、より良い地球環境づくりに努めます。

## 《行動指針》

1. 事業所及び現場で使用する電気、燃料、水の使用量削減に努め二酸化炭素総排出量の削減に取り組めます。
2. 廃棄物の削減活動とリサイクル活動の推進をします。
3. オゾン層の保護、地球温暖化に向けフロンガスの回収を徹底すると共に業界のフロン排出抑制対策活動に積極的に取り組めます。
4. 環境保全に関する知識と認識の向上を図り、環境負荷を削減する省エネ商品の提案に重点を置き導入を勧めます。
5. 高効率空調機や全熱交換器等の環境に配慮した商品による省資源化を推進します。
6. 環境関連法規則を遵守します。
7. 環境活動レポートを作成し、自社ホームページでも公表します。
8. 社員及び協力会社が環境経営方針を理解、周知徹底すると共に環境問題への意識向上を図り環境経営の継続的改善を誓約する。

制定日 2009年 8月 1日  
改定日 2011年 4月 1日  
改定日 2020年 4月 1日  
改定日 2021年 4月 1日

中央冷熱株式会社  
代表取締役社長 橋本 義弘

## 《 4 . 環境経営目標》

二酸化炭素・廃棄物の排出量及び総排水量は 2021年度を基準として以下の目標で環境活動に取り組む。

項 目		単位	基準値 2021年度実績 (2021.4~2022.3)	2022年度目標値 (2022.4~2023.3) 0.5%削減	2023年度目標値 (2023.4~2024.3) 1.0%削減	2024年度目標値 (2024.4~2025.3) 1.5%削減	2025年度目標値 (2025.4~2026.3) 2.0%削減	
二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)	購入電力	kWh	28,562.00	28,419.19	28,276.38	28,133.57	27,990.76	
	化石燃料	① ガソリン	ℓ	13,409.84	13,342.79	13,275.74	13,208.69	13,141.64
		② 軽油	ℓ	666.07	662.74	659.41	656.08	652.75
		①+② 化石燃料計	ℓ	14,075.91	14,005.53	13,935.15	13,864.77	13,794.39
	CO2排出量(事務所・倉庫・現場)	kg-CO2	46,395.19	46,163.21	45,931.24	45,699.26	45,467.29	
廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	一般廃棄物	kg	1,620.70	1,612.60	1,604.49	1,596.39	1,588.29	
	産業廃棄物	kg	54,783.00	54,509.09	54,235.17	53,961.26	53,687.34	
総排水量の削減(節水)		m3	182.00	181.09	180.18	179.27	178.36	

項 目	単位	2022年度 目標数値 (2022.4~2023.3)	2023年度 目標数値 (2023.4~2024.3)	2024年度 目標数値 (2024.4~2025.3)	2025年度 目標数値 (2025.4~2026.3)
フロンガスの漏洩点検(保守点検) ※1	物件	17	17	18	18
高効率空調機器の推進 ※2 (高効率空調機器/全空調機器の台数 比率)	%	30.0	30.0	30.0	30.0
グリーン購入品の推進(事務用品) (グリーン購入金額/全購入金額 比率)	%	20.0	20.0	20.0	20.0

※1 フロンガスの漏洩点検(保守点検)は当社が請け負っている保守契約の物件数。

※2 高効率空調機器とはメーカーによる「グリーン購入法調達基準適合商品」とする。



## 《6. 環境経営目標の実績》

結果 ○:達成 ×:未達成

項目		単位	基準値 2021年度実績 (2021.4~2022.3)	2023年度目標値 (2023.4~2024.3) 1.0%削減	活動実績 (2023.4~2024.3)	基準値に対する 削減率	結果	
二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)	購入電力	kWh	28,562.00	28,276.38	27,300.00	-3.5%	○	
	化石燃料	① ガソリン	ℓ	13,409.84	13,275.74	13,435.94	1.2%	×
		② 軽油	ℓ	666.07	659.41	436.08	-33.9%	○
		①+② 化石燃料計	ℓ	14,075.91	13,935.15	13,872.02	-0.5%	○
	CO2排出量(事務所・倉庫・現場) ※1	kg-CO2	46,395.19	45,931.24	44,554.17	-3.0%	○	
廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	一般廃棄物	kg	1,620.70	1,604.49	1,997.00	24.5%	×	
	産業廃棄物	kg	54,783.00	54,235.17	43,448.00	-19.9%	○	
総排水量の削減(節水)		m3	182.00	180.18	189.00	4.9%	×	

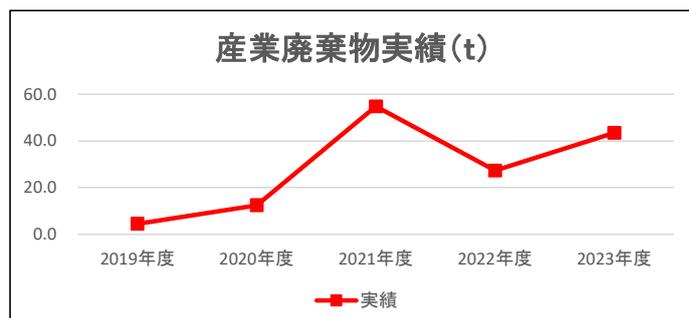
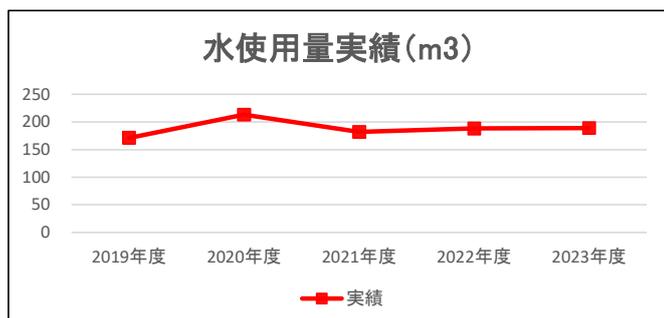
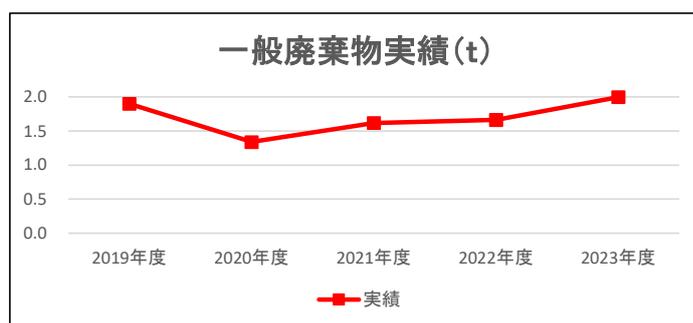
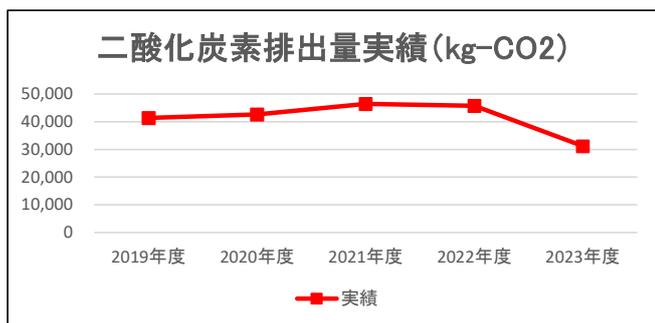
※1 二酸化炭素排出係数: 令和3年度 中部電力ミライズ株式会社 0.449(kg-CO2/kWh)

項目	単位	2023年度 目標数値 (2023.4~2024.3)	活動実績 (2023.4~2024.3)	結果
フロンガスの漏洩点検(保守点検) ※1	物件	17	17	○
高効率空調機器の推進 ※2 (高効率空調機器/全空調機器の台数 比率)	%	30.0	62.6	○
グリーン購入品の推進(事務用品) (グリーン購入金額/全購入金額 比率)	%	20.0	54.1	○

※1 フロンガスの漏洩点検(保守点検)は当社が請け負っている保守契約の物件数。

※2 高効率空調機器とはメーカーによる「グリーン購入法調達基準適合商品」とする。

### 過去5年間の実績



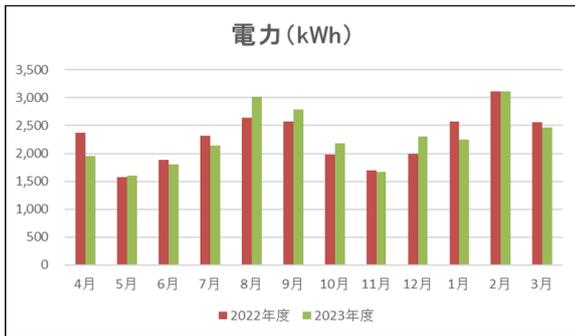
# 《7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組》

## 1. 二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー)

### ①電力

取組結果 ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった

環境目標 (2023年度)	施策内容	取組結果	取組結果とその評価	次年度の取組
電力消費量の削減 2021年度実績より 1.0%削減  結果 基準値に対する削減 -3.5%削減	クールビズ・ウォームビズの推進	◎	昼休み時間や不在時には不要な照明を消し、エアコンの温度設定等管理が徹底してできたため目標数値より削減が出来た。エアコンのフィルター掃除等、担当者ローテーションで交代しながら行うことができた。次年度も電力消費量の節約の徹底を継続し削減に努める。	継続
	節電の表示・節電の徹底	○		継続
	昼休み・不在時の消灯	◎		継続
	OA機器・PC未使用時の電源OFF	○		継続
	エアコンのフィルター清掃・点検の実施	◎		継続



#### 取組内容

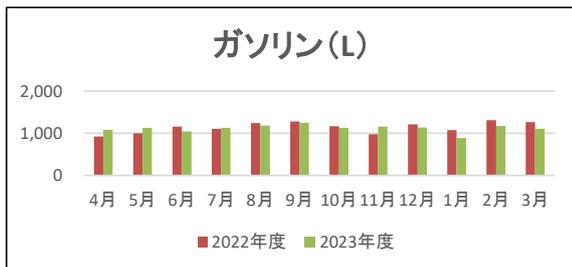


消灯・節電表示

### ②ガソリン・軽油

取組結果 ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった

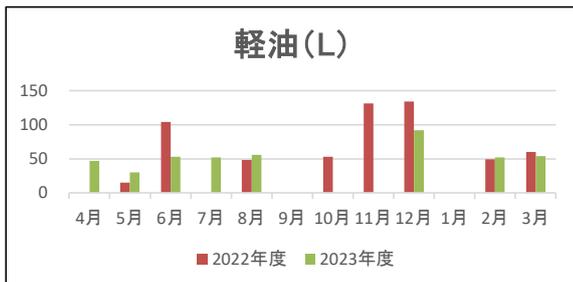
環境目標 (2023年度)	施策内容	取組結果	取組結果とその評価	次年度の取組
化石燃料の削減 2021年度実績より 1.0%削減  結果 基準値に対する削減 -0.5%削減	エコドライブの推進	◎	エコドライブの徹底や車両点検の徹底を継続することが出来た。安全運転管理者から毎月、施策を告知することで化石燃料削減が徹底できた。エコドライブの徹底を継続し削減に努める。	継続
	・アイドリングストップ運動の徹底 ・急発進・急加速の禁止 ・車両点検の徹底(毎月1回)			◎



#### 取組内容



エコドライブ10か条  
全車両に取付

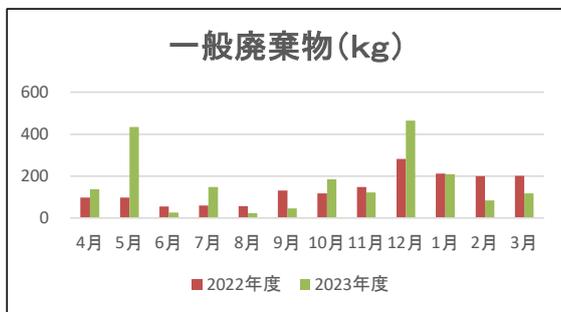


## 2. 廃棄物排出量の削減(リサイクルの推進)

### ①一般廃棄物

取組結果 ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった

環境目標 (2023年度)	施策内容	取組結果	取組結果とその評価	次年度の取組
一般廃棄物の削減 2021年度実績より 1.0%削減  結果 基準値に対する削減 24.5%増加	紙使用量の削減 ・コピー用紙の裏面利用 ・使用済みの封筒を再利用	○	目標値には達成することが出来なかった。 一般廃棄物分別により manifests の管理が出来、徹底することが出来た。 官庁発注の工事が増加したため、印刷の機会が増えてしまった。 引続きコピー用紙の裏を使うことや、書類の電子化を行うように次年度も継続していく。 現場発生材料(梱包材)、段ボールの分別の徹底ができた。	継続
	リサイクルの推進 ・ダンボール、古紙の分類	○		継続
	分別廃棄の徹底 ・リサイクル用紙ボックスの設置と表示 ・分別廃棄の実施(紙・缶・ビン)	○		継続



#### 取組内容



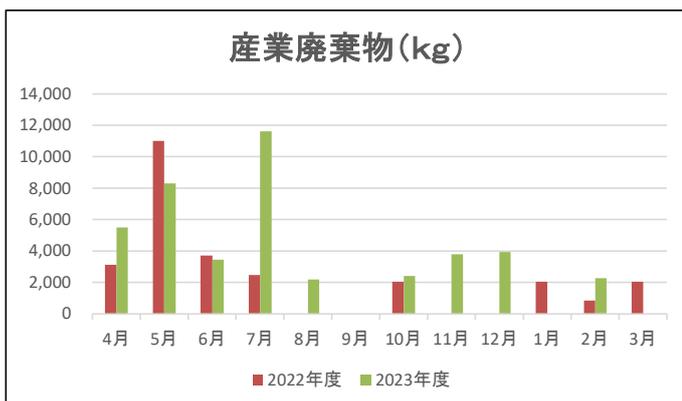
コピー用紙裏紙再利用



### ②産業廃棄物

取組結果 ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった

環境目標 (2023年度)	施策内容	取組結果	取組結果とその評価	次年度の取組
産業廃棄物の削減 2021年度実績より 1.0%削減  結果 基準値に対する削減 -19.9%増加	分別によるリサイクルの推進 ・分別廃棄場所の整備及び表示 ・分別方法の教育  ・分別廃棄の実施 ・梱包材の分別	○	今年度も manifests 管理の徹底を行い、保管や manifests の管理を行う。 また、建設混合廃棄物、金属くずの分別をすることができ、全員が取組を徹底することが出来た。 次年度も継続して削減するように努力をする。 各現場で分別方法の教育の実施、梱包材の回収、混廃の分別をすることができた。	電子 manifests での管理も検討する
	産業廃棄物の管理の徹底・適正処理(manifests管理)	○		



#### 取組内容



産業廃棄物の分別(混合廃棄物)



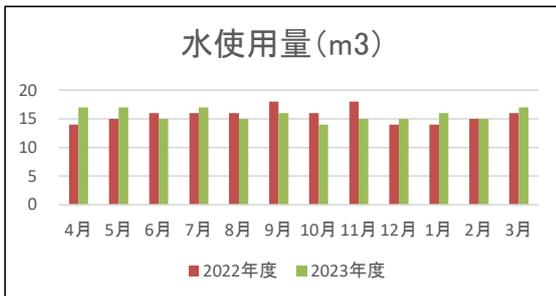
産業廃棄物の分別(金属類)

### 3. 総排水量の削減(節水)

#### ①水使用量

取組結果 ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった

環境目標 (2023年度)	施策内容	取組結果	取組結果とその評価	次年度の取組
総排水量の削減 2021年度実績より 1.0%削減  結果 基準値に対する削減 +4.9%増加	節水の表示	◎	事務所は本社ビルの1フロアーにあり、水道使用量は本社ビルにいる従業員の人数按分により算出しています。 目標は達成できなかったものの、施策内容に応じた取り組みはできていた。 次年度も一人ひとり節水を意識して削減に努める。	継続
	節水の徹底	◎		継続
	洗い物は時間を決めてまとめて洗う	◎		継続



#### 取組内容



節水表示

### 4. フロンガス漏洩点検、高効率空調機の推進、グリーン購入品の推進

取組結果 ◎:よくできた ○:まあまあできた △:あまりできなかった

環境目標 (2021年度)	施策内容	取組結果	取組結果とその評価	次年度の取組
フロンガスの漏洩点検 (保守点検) 目標数値 17件 活動実績 17件	フロンガスの漏洩点検(保守点検) 年2回(夏・冬前)	◎	フロン排出抑制法によりフロンの漏洩点検が義務化され、また、フロンガスの回収破壊の徹底は法律で定められていることであり、今後も法令遵守を徹底していく。 次年度も引き続き保守契約の顧客を増やすように努める。	継続
	古い機器の更新を推進しフロンガスを確実に回収する	◎		継続
	回収機のメンテナンス	○		継続
	フロン類回収行程管理票による処理	◎		継続
高効率空調機器の推進 目標数値 30.0% 活動実績 62.6%	環境にやさしい省エネ機器の提案営業	○	昨年度同様に空調機の更新提案営業でも積極的に省エネ機器を進めることが出来た。 ユーザーにわかりやすく省エネ機器に対する説明が出来るようにし、顧客に提案していく。 次年度も引き続き高効率空調機を推奨提案していく。	ユーザーに省エネ機器に対する説明方法、提案方法を検討する。
	・省エネ機器販売の促進 ・ユーザーへの環境に対する説明 高効率空調機、換気設備の設計提案			
グリーン購入品の推進 目標数値 20.0% 活動実績 54.1%	資材・備品等の新規購入時にグリーン購入を検討	◎	積極的な取り組みによりグリーン品を購入し、エコマーク商品も積極的に購入している。 次年度も引き続き積極的に購入していく。	継続
	エコマーク商品を積極的に購入	◎		継続

## 5.その他の活動状況

### ● エコアクション21推進委員会会議



#### 管理職対象

- ・ エコアクション21の内容及び環境経営システムについて。
- ・ 環境への取組について。
- ・ エコアクション21 今期の環境経営目標及び環境経営計画について。

### ● 一般教育



#### 全従業員対象

- ・ エコアクション21 今期の環境経営目標及び環境経営計画について。
- ・ 社員に対しての取組内容の確認。

### ● 緊急事態への準備及び対応訓練



#### 全従業員対象

- ・ 避難経路の確認、消火器の使い方の説明。
- ・ 倉庫内でフロンガス漏洩を想定し、避難経路等の確認説明。
- ・ フロンガス回収機の説明。
- ・ 保管容器の管理の確認。



## 《 8 . 環境関連法規等の取りまとめ表》

### (1) 環境関連法規等の遵守状況

遵守状況確認日 2024年3月31日

法 規	適用範囲	条項番号	内容又は規制基準	責任者 (担当部門)	遵守状況
・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)  ・ 静岡県・静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物排出時	法第12条	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	増田	○
			産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付(5年間保管)	推進室	○
			産業廃棄物置場の管理及び表示	菅原	○
		規則第8条の27	産業廃棄物管理票等状況報告 (6月30日までに静岡市長に報告)	推進室	○
・ 特定家庭用品機器再商品化法 (家電リサイクル法)	特定家庭用機器の排出時	法第18条	家電リサイクル券の発券と管理票の管理(3年間保存)	推進室	○
・ フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)  (第一種フロン類充填回収業者)	フロン類の充填・回収行為の適正化	法第9条	県への報告義務(年度終了後45日以内)	樞守	○
		法第19条	登録の更新		○
		法第20条	行程管理票による管理(受理と写しの保存:3年間)	推進室	○
			冷凍空調機器の適正な管理とフロン類の排出抑制  ・ 全ての業務用冷凍空調機器は3ヶ月に1回以上簡易点検を行う ・ 7.5KW以上50KW未満の空調機器は3年に1回以上定期点検を行う ・ 50KW以上の空調機器は1年に1回以上定期点検を行う ・ 7.5KW以上の冷凍・冷蔵機器は1年に1回以上定期点検を行う ・ フロンの漏えいを発見した時は、漏えい箇所の特定修理をし完了するまでは、充填することは原則禁止 ・ 機器を廃棄するまで記録を保存	安東	○
高圧ガス保安法	高圧ガスの製造、貯蔵、移動等	法第1条	高圧ガスの取扱いの届出及び管理  登録の更新	戸塚	○ ○
静岡県生活環境の保全等に関する条例 (騒音規制法の上乗せ基準)	指定地域内(第1種～第4種区域)  ※特定施設の届出 施主に対する届出の指導	静岡県公害防止条例 53条	特定施設の設置の届出 工事着工 30日前  ・ 空気圧縮機及び送風機 (電動機の定格出力:3.75Kw以上)  ・ ケーリングタワー (電動機の定格出力:0.75kw以上)  ・ 冷凍機(圧縮機を用いるのに限る) (電動機の定格出力:3.75Kw以上)	各担当者	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例 (振動規制法の上乗せ基準)	指定地域内 (第1種1.2～第2種1.2区域)  ※特定施設の届出 施主に対する届出の指導	静岡県公害防止条例 80条	特定施設の設置の届出 工事着工 30日前  ・ 圧縮機 (電動機の定格出力:7.5kw以上)	各担当者	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法)	環境物品等の調達の推進等	法第5条	空調機器及び文房具等	大石 戸塚	○

### (2) 違反、訴訟等の有無

- ・ 当該環境関連法規への違反はありませんでした。
- ・ 関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟は、過去3年間ありませんでした。

# 《9. 代表者による全体評価と見直し・指示》

作成日 2024年5月30日

代表者氏名 : 橋本 義弘

前期見直し指示への取組結果	見直し指示内容		取組結果		
	①	高効率空調機、熱交換換気、排熱再利用などの省エネ提案を進める。	高効率空調機の採用比率が前期53.1%から今期62.6%に上がっている		
今期見直しのための取組確認結果	項目		確認	(必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>		
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	紙資源を可能な限り電子化を図る	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>		
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>		
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>		
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>		
8	その他 :	<input type="checkbox"/>			
今期全体評価・コメント・見直し指示	全体コメント	環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等		空調設備業者として環境問題への取組、省エネ提案を引続き実践して行き経営メリットに繋がるエコアクション活動に行きたい。	
	代表者による見直し指示	見直し項目		見直しの必要性	「有」の場合の指示事項等
		1	環境経営方針	有・ <input type="radio"/> 無	
		2	環境経営目標	有・ <input type="radio"/> 無	
		3	環境経営計画・取組項目	有・ <input type="radio"/> 無	
		4	環境に関する組織(実施体制含め)	有・ <input type="radio"/> 無	
		5	その他のシステム要素	有・ <input type="radio"/> 無	
6	その他(外部への対応等)	有・ <input type="radio"/> 無			